

平成 29 年 8 月吉日

上下水道事業関係者 各位

水コン協会員 各位

(一社) 全国上下水道コンサルタント協会 関西支部

支部長 北 秀 文

平成 29 年度 関水コン技術講座 (ご案内)

「下水道管路施設の管理業務について」

～管路施設におけるストックマネジメント並びに維持管理の取り組み事例について～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本協会の活動に対してご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

この度、標記技術講座を開催することとなりましたので、別添資料の通りご案内申し上げます。

さて、下水道管路施設の多くは高度成長期以降、急激に整備されており、今後、標準耐用年数を経過した管路が急増することが見込まれています。このような管路の老朽化に起因した道路陥没事故等が年間約数千件も発生していることは、下水の収集システム等に支障をきたすだけでなく、場合によっては道路交通等に重大な影響を及ぼす恐れが懸念され、機能停止や重大な事故等を未然に防止し、持続的な下水道機能の確保を図るためには、予防保全型の適切な維持管理を実施することが求められています。

そこで、昨年の下水道法の改正に伴う維持修繕基準の制定など、事業体では様々な取り組みがなされようとしている中、そうした取り組みの支援を目的に、国土技術政策総合研究所においては「下水道管きょ健全率予測式 2017」と「劣化データベース」が公開されました。一方、各事業体では、管路施設の維持管理の取り組みとして、予防保全型維持管理への転換を推進するため「管理業務における包括的民間委託」について事業化を進めている状況です。

技術講座では、これらの状況を踏まえ、講師の皆さんから、新たな視点に立った管路施設におけるストックマネジメントや維持管理の取り組み事例を紹介することで、今後のコンサル業務に繋がればと考えております。

なお、ご参加いただいた皆さまには、当協会の CPD プログラム認定書を発行いたします。

敬 具